



いしかわ労福協

第 607 号 2018年8月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 西田 満明
 編集人 上野 貞彦
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行

— 第4回理事会 —

来年度の『政策制度の要請』実現に向けて



石川労福協は、第4回理事会を8月27日(月)フレンドパーク石川において開催した。

西田満明理事長が「前回理事会以降、労働者自主福祉運動の活性化に向けた協議も進み、昨年に引き続いて運動することを取り決めた。我々の諸先輩が自らの福祉向上を目的に創り上げてきた労金・労済運動の推進にご協力いただきたい。また、労働者をはじめ地域住民の生活向上等にかかる来年度の政策に対する自治体要請についても真摯な議論を経て、具体的要請へ

と皆様のご協力により進めて行きたい。」と挨拶した。

初めに、会員組織事情により欠員となっていた理事を、次期通常総会までの理事代理として1名選任した。続いて、中川博専務理事が、この間の取り組み状況を報告し了承された。

協議事項では、「2019(平成31)年度 石川県及び市町の政策に対する要請」について、労働者・地域生活者を取り巻く福祉・生活の向上、多発する自然災害に対する備えと復旧などが要請事項として提案され、要請内容の修正や追加など闊達な協議を行った。また、「2018全国福祉キャンペーン」の取り組み、婚活行事・子育て行事の開催、そして地域ライフ・サポートセンターと、県障害者スポーツ協会のそれぞれから選抜された各選手による第16回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会の開催などが提案され、全ての協議案件が全会一致で承認し、9月・10月にかかる行事の実施を前進させた。

就任した理事代理：鈴木隆史氏(勤文協)

自治体への主な要請事項

- ①国の奨学金制度の改善・充実への支援
- ②改正生活困窮者自立支援法に基づく取り組み体制強化
- ③子どもの貧困対策と児童虐待防止の取り組み強化
- ④高齢者世帯への地域における支援体制強化
- ⑤育児・介護による離職防止と保育・介護施設職員の処遇改善
- ⑥消費者保護の観点からの消費者教育と消費者被害の支援体制強化
- ⑦フードバンク活動の促進への支援
- ⑧大規模自然災害に対する防災・減災意識の向上と災害に対する備えの更なる充実

福祉グラウンド・ゴルフ中央大会実行委員会開催

石川労福協とライフ・サポートセンターは、7月24日(火)フレンドパーク石川において「第16回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会実行委員会」を開催した。



金沢市グラウンド・ゴルフ協会、県障害者スポーツ協会、北陸労働金庫石川県本部と労福協・LSCから7名が出席し、大会の開催日程や開催要項は前年の大会運営状況を踏まえ、金沢市大和町の「金沢市民芸術村 大和町広場」で、10月3日(水)午前9時に、地域LSCと県障害者スポーツ協会からそれぞれ選抜された計270名の選手により開催することを基

第16回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会

主催：石川労福協、ライフ・サポートセンター
 共催：北陸労働金庫石川県本部、全労済石川進本部、石川県障害者スポーツ協会
 後援：金沢市グラウンド・ゴルフ協会、北國新聞社
 日時：2018年10月3日(水)
 午前8時30分受付開始(小雨決行)
 会場：金沢市大和町「金沢市民芸術村『大和町広場』」
 エントリー対象：地域ライフ・サポートセンターが主催する地域予選会等により地域毎に選抜された方(県内全地域で計240名、地域単位でのエントリーとなります)及び石川県障害者スポーツ協会の選抜選手(30名、協会からのエントリーとなります)
 参加費：500円/人
 当日の予定：受付 午前8時30分から
 開会式 午前9時00分
 競技開始 午前9時20分頃
 閉会式 午後1時頃
 連絡先：労福協ライフ・サポートセンター
 電話 (076) 234 - 0010

本とし、今大会の開催実施に向けた具体的な取り組みを協議決定した。

委員からは、「昨年の大会と同様にスムーズな進行に向けて準備を進めていただきたい。あとは当日の天候次第である。なお、今年は酷暑の影響もあり、健康管理には十分配慮した対応を進めていただきたい。また、今年も施錠した車上狙いの横行やカラスによる被害が出ており、注意喚起をされたい。」と発言があり、参加者には特に貴重品管理は厳重にお願いすることを確認した。

開催当日では、参加選手の温かいふれあいと熱い戦いを期待する。

労福協・LSC 事務局次長 田中 雄一

フレンドパーク石川運営委員会

労福協は、フレンドパーク石川の会館運営を円滑に進めるために「フレンドパーク石川運営委員会」を設け、今日まで会館運営に活かしてきている。

今年は、8月1日(水)に第16回目となる委員会を開催し、委員7名が参加して議論を行った。

中川博専務理事が日頃の会館利用・運営への感謝を委員に述べた後、事務局が昨年度の会館の利用において、テナントに空きを生じていることや企業情勢の変化により会議室利用が伸び悩み苦戦している状況や収支状況を報告した。

また、会館の利用の利便向上のため、現状施設・設備の変更・改修を実施することが提起された。

更に、来年10月実施見込みの消費税率改定に対応した料金設定の方向性なども確認した。

委員からは、今年の大雪に対応した除雪体制の検討、公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備などが提起され、検討課題として取り組んでいくこととし、今後とも利用促進への協力を求め終了した。

これからの行事予定

(8月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
8月30日	木	メーデー協賛 東日本大震災復興支援 現地視察(～9月1日)	宮城県仙台市、名取市
9月6日	木	中部会館協 平成30年度第1回幹事会	広島県福山市
〃	〃	全国会館協 第48回定期総会・役員研修会(～7日)	〃
8日	土	第14回婚活行事「ろっふく・むすび・ネット」	フレンドパーク石川
20日	木	中央労福協 地方労福協会議(～21日)	名古屋市
21日	金	〃 2018年度ライフサポートセンター責任者連絡会議	〃
22日	土	食みどり水NW 海外飢餓支援米稲刈り	金沢市牧山町
10月2日	火	自治体要請 自治体担当者会議	フレンドパーク石川
〃	〃	〃 連合石川議員団との意見交換会・懇談会	ANAホリディイン金沢スカイ
3日	水	労福協LSC 第16回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会	金沢市民芸術村大和町広場
13日	土	労福協 芋ほり交流会	金沢市 五郎島

事業団体連絡会議



労福協は、事業団体連絡会議を7月30日(月)と8月21日(火)に、いずれもフレンドパーク石川において開催した。

会議には、メンバー全員が参加し、2019年度における政策的事項等の県内自治体への要請事項について協議・調整を図るとともに、具体

的要請行動への取り組みを決定した。

会議に先立ち、中川博専務理事が「労働者をはじめ地域住民の福祉向上と安全で安心な暮らしを確保していく上でも、我々が行う自治体への要請行動は意義あるものである。来年度においても更なる生活の向上にむけての取り組みに協力いただきたい。」と挨拶した後、各団体からは、前年度に引き続き要請するものや、取り巻く情勢に対応した内容に変更する要請が出され、各委員の意見を参考にしつつ、各事業団体の要請内容を取りまとめた。

また、労福協における要請事項については、中央労福協をはじめとして全国的に提起・要望する事項を踏まえた内容として労福協理事会で決定する旨が示され、各自治体への要請には、一丸となり進めることが確認された。

中部労福協

第6回理念・歴史・リーダー養成講座



中部労福協は、8月7日(火)、8日(水)の両日、兵庫県姫路市「ホテル日航姫路」において第6回理念・歴史・リーダー養成講座を69名の参加で開催した。

石川県からは、東晃栄氏(北陸労金)、安本孝道氏(全労済)、久富象二氏(労信協)、中川博氏(労福協)の4名が参加した。

開催にあたり主催者を代表して中部労福協辻政光会長から、続いて、開催地の兵庫県労福協辻芳治理事長より挨拶があった。

1日目は、中央労福協労働者福祉運動アドバイザー高橋均氏と賀川記念館参事西義人氏から講義があった。

高橋氏は、『「2020年」ビジョンの論議経過と検証について』と題し、「歴史から学ぶ労働運動」、「労働組合と生協の協力で生まれた中央労

福協、そして労働金庫と全労済」、「労働運動と労働者自主福祉運動のこれからの役割」について講義し、加えて「上映した映画『ボタ山絵日記(ザリガニ)』に垣間見た、連帯の思想を今一度考え、「連帯・友愛・絆」の実現に向けて努力して欲しい」と述べられた。

続いて、西氏は、『社会運動の先駆者 賀川豊彦に学ぶ』と題し、「賀川豊彦の活動内容」「協同組合7つの中心思想」などを講義し、賀川豊彦が取り組んだ「防貧活動」である「共済」の意義を伝えられた。

2日目は、法政大学大学院連帯社会インスティテュート教授中村圭介氏から『地方労福協に期待することー共助から連帯へ』と題し、山形県・新潟県・長野県・徳島県の4つの地方労福協の事例を基に、今後は、地方労福協がこれまでの「共助」からすべての地域労働者のための「連帯」に向けた取り組みが求められると講義した。

その後、近畿労働金庫兵庫地区本部事務局長竹一稔弘氏から『労働組合と‘ろうきん’が連携した組合員の生活応援運動』について、全労済兵庫推進本部事務局長西谷圭一氏から『全労済(共済事業)の現状と今後の課題』について活動内容の紹介を受けた。

最後に、中部労福協小山正人副会長の閉会挨拶にて2日間の講座を終了した。

石川県勤労者共済生協 第63回通常総代会・全労済石川推進本部第1回組合員代表者会議



石川共済生協第63回通常総代会ならびに全労済石川推進本部第1回組合員代表者会議が7月31日(火)労済会館において、総代141名の出席で開催された。

冒頭、光林邦彦理事長は挨拶の中で「近年自然災害が多発し、いずれも大きな被害がでている。特に石川県においては、2月の大雪寒波において、被災受付件数1,900件を超え、共済金も約3億円を超え、約3カ月にわたり、他県からの応援を受けながら、できるだけ早く「共済金」をお届けするために、石川推進本部役職員一同、全力で対応をはかってきた」と述べた。

また「石川共済」においては、「38年前に共済業推の拠点として建設された「労済会館」だが、老朽化による修繕費の拡大、同様他施設との競合などにより運営収支が大変厳しく、今後の共済事業への影響も懸念されることから、「施設事業の廃止」の提案が今総代会において提案される。皆さまのご理解をお願いしたい」と挨拶した。

来賓として、石川県生活環境部生活安全課長道原正浩氏、連合石川会長・石川労福協理事長西田満明氏が紹介され、それぞれ祝辞を述べられた。

議案審議の前に、宮鍋業務委員長より「2017年度表彰団体」として4部門15団体を紹介し、代表して3団体に賞状と記念品の贈呈が行われた。

まず、石川共済第63回総代会の議案審議が行われ、後本康裕専務理事より2017

年度活動報告および剰余金処分案、2018年度事業計画等の提案がされ、満場一致で可決承認された。

また今総代会にて、施設事業(労済会館)の2019年7月末での事業廃止が提案され、満場一致で可決承認された。

続いて、全労済中部統括本部石川推進本部第1回組合員代表者会議の付議事項の審議がされ、2017年度活動報告では、台風21号や大雪寒波の被害により自然災害共済の給付が前年度と比較し2.8倍、特に被害の大きかった大雪寒波による共済金は石川県では約3億円との報告がされた。

また2017年度の特徴的な取り組みとして、2018年4月の金沢市の自転車保険加入義務化により、「個人賠償責任共済」を重点的に取り組みがなされたとの報告がされた。

2018年度推進活動計画では、組合員への商品・サービスの向上のため、2019年1月にマイカー共済の制度改定が予定されていることや社会貢献活動の取り組みとして、2019年3月に親子向けミュージカルを実施すること、約3万口のマイナス伸長を目標設定とする旨などが提案され、満場一致で可決承認がされた。

付議事項提案終了後、新任役員の紹介ならびに挨拶がされ、組合員代表者会議が終了した。

<退任役員(敬称略)>

- ・大村 友康(石川交通労働組合)
- ・餅田 晃(UA ゼンセン小松精練労働組合)
- ・湊口 洋伸(連合石川)
- ・田中 健生(北國新聞労働組合)




全労済
公式キャラクター
ピットくん

あらゆる暮らしの
シーンをしっかりガード。



全労済の住みいる共済

災害共済・自賠責共済

こくみん共済

総合医療共済

せいのめい共済

マイカー共済

自賠責共済

団体生命共済

交通災害共済

新セット移行共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら



全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

石川労信協 設立50周年記念式典・祝賀会



8月3日(金)、ANA クラウンプラザホテル金沢で、一般財団法人石川県労働者信用基金協会の設立50周年記念式典並びに記念祝賀会が133名の出席のもと開催された。

記念式典の冒頭、宮下亮理事長は「各自治体や労働金庫、労福協、事業団体に支えられて半世紀50年の大きな節目を迎えることができた。」と感謝の意を述べた。

理事長あいさつの後、来賓の谷本正憲石川県知事、山野之義金沢市長、度会章仁全国労働者信用基金協会連合会会長(日本労信協理事長)、さらに西田満明石川県労働者福祉協議会理事長(連合石川会長)が祝辞を述べ、また顧問弁護士である北尾強也弁護士、森本富志雄北陸労働金庫理事長、柚木光同金庫石川県本部長、尾谷康

弘北陸労働者信用基金協会協議会会長(富山勤信協理事長)、牧野恭英福井労働者信用基金協会理事長が紹介された。

続いて長年石川労信協の事業に貢献された役員・審査委員として、長田孜元理事、西田満明元審査委員長、山口隆元理事、古立匡彰元理事、中江信男元評議員、松浦政雄元審査委員に感謝状と記念品が贈呈され、被表彰者を代表して中江信男氏が謝辞を述べた。

式典に引き続き催された祝賀会は、オーケストラ・アンサンブル金沢の演奏で幕を開け、森本北陸労金理事長の乾杯、柚木北陸労金石川県本部長のスピーチ、北陸労金石川地区営業部店長等によるPRタイムの後、石川県無形文化財「御陣乗太鼓」の迫力ある演舞が披露された。

最後に狩山久弥北陸労金副理事長の音頭で万歳三唱し、久富象二石川労信協専務理事が閉会あいさつに立ち、60周年に向けた決意を述べ、盛会のうちに終了した。



東日本大震災復興支援「写真」展



労福協・連合石川等で構成する第89回石川県統一メーデー実行委員会は、8月25日(土)にJR金沢駅もてなしドーム地下広場において、未曾有の災害であった東日本大震災を風化させず、自然災害への教訓として防災・減災に活かすことを目的に「写真」展を開催した。

オープニングに先立ち、第89回石川県統一メーデー実行委員長の西田満明連合石川会長の挨拶の後、来場者一同で震災で亡くなられた方

に黙とうを奉げた。

会場には、連合本部より借用した被災現場や連合ボランティアが被災地の復旧支援に取り組む様子などを写した写真が展示されたほか、被災地での支援活動などがビデオ放映され、改めて自然災害に対する準備の必要性を切に思うものであった。

展示された日は、猛暑が続く夏休み最後の土曜日でもあり、通りかかった方が立ち止り、東日本大震災を胸に刻んでいった。なかには、東北からの観光客で、「大震災を風化させない取り組みに感謝する。」とお礼を伝えられた方もあり、取り組みに成果を感じるものとなった。

また、今月末には、約20名が被災地を訪問し、震災被害と復興状況を視察し、支援の継続への足掛かりとする。

なお、会場では先の西日本での平成30年7月豪雨被害者等への募金活動も行われた。

勤 体 協

第51回県勤労者夏季体育大会

《バスケットボール大会》

7月29日・津幡運動公園体育館

◇男子2組 ①SBC(小松市) ②Sakuranの家 ③チェンバース

《バスケットボール大会》

8月5日・石川総合SC

◇男子3組 ①DISCOVERY ②Nobadelic ③ゆりかもめ

《第21回ソフトバレーボール大会》

8月19日・津幡運動公園体育館ほか

◇混合フリーA ①EASYZ-A ②TZ(ツッカ)
③やすはらSVC

◇混合フリーB ①ドラゴンマジック ②TSUNAMI
③だいとく.-B

◇混合160歳以上A ①イーストパープルB ②たけし
③余喜SVC

◇混合160歳以上B ①だいとく.-C ②A-FOUR ③金沢EFS

◇混合200歳以上A ①弥生ソフトバレー ②EASYZ-D
③QUATONE

◇混合200歳以上B ①伏見台SVC ②七尾SVC-A ③さきうら

◇混合240歳以上 ①森山SVC ②Smile ③カサブランカ

◇女子140歳以上 ①米丸トウインクル ②ウィッチーズB
③つばた南SVC-C

ありがとう

ろうきんフェスタ

2018

みんなで来てね!!

労金コーナーで待ってま〜す!!

入場無料

**日頃の感謝の気持ちを込めて!
お客様参加型の楽しいイベントが満載!!**

9/29 **土** AM10:00 ▶ PM3:00

石川県産業展示館2号館にて開催

主催：金沢地域ライフ・サポートセンター
金沢市西念3-3-5(フレンドパーク3階) TEL (076) 231-2313
北陸労働金庫 本店・金沢南支店・県庁出張所
共催：連合石川かなざわ地域協議会 後援：北國新聞社

